

令和 8 年用いちご病害虫防除基準

※ランナーを切り離れた時点より使用回数をカウントする。  
※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

発行：J A さ が え 西 村 山  
さがえ西村山野菜振興協議会

害虫防除【殺虫剤】

作業	RAC コード	薬 剤 名	使 用 方 法				対 象 病 害 虫					注 意 事 項
			倍 率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	アブラ ムシ類	アザミ ウマ類	コナジ ラミ類	ハスモン ヨトウ	ハダニ類	
植 生 育 期	未分類	エコピタ液剤	100倍	—	定植前 10秒～1分 間苗浸漬	—					●	※5～7日間隔での連続散布や他剤とのローテーション散布を行う。 ※展着剤は加用しない。
			100倍	100～300L	前日まで	—	●		●		●	
定 植 時	28	ベリマーク S C	1,000倍	50mL／株 灌注	育苗期後半 ～ 定植当日	1 回	●	●	●	●		
定 植 時	4 A	ベストガード粒剤	1 g／株 植穴処理土壌混和		定植時	1 回	●					※ニテンピラムを含む（ベストガード）総使用回数は4回以内 （定植時の土壌混和は1回以内、株元散布及び散布は合計3回以内）
育 苗 期 ～ 生 育 期	4 A	ベストガード水溶剤	2,000倍	100～300L	前日まで	3回以内	●		●			
	23	モベントフロアブル	500倍	50mL／株 灌注	育苗期後半 ～ 定植当日	1 回	●	●	●		●	※スピロテトラマトを含む（モベント）総使用回数は3回以内 （灌注は1回以内）
			2,000倍	100～300L	前日まで	3回以内	●	●	●			
	29	ウララ D F	2,000倍	100～300L	前日まで	2回以内	●		●			
	9 B	チェス顆粒水和剤	5,000倍	100～300L	前日まで	3回以内	●		●			
	4 A	モスピラン顆粒水溶剤 <sup>㉔</sup>	2,000倍	100～300L	前日まで	2回以内	●	●	●			●登録：カキノヒメヨコバイ、チバクロバネキノコバエ
	3 4	ファインセーブフロアブル <sup>㉔</sup>	1,000倍	100～300L	前日まで	3回以内		●				
	5	ディアナ S C	2,500倍	100～300L	前日まで	2回以内		●	●	●		●登録：クロバネキノコバエ類
	1 B	マラソン乳剤	2,000倍	100～300L	3日前まで	5回以内	●	ミカンキロ ●			●	
	30	グレーシア乳剤	2,000倍	100～300L	前日まで	2回以内		●		●	●	●登録：オオタバコガ
	25A	スターマイトフロアブル	2,000倍	100～300L	前日まで	2回以内					●	●登録：シクラメンホコリダニ
	20D	マイトコーネフロアブル	1,000倍	100～300L	前日まで	2回以内					●	
	6	コロマイト水和剤	2,000倍	100～300L	前日まで	2回以内					●	●登録：シクラメンホコリダニ
	33	ダニオーテフロアブル	2,000倍	100～300L	前日まで	2回以内					●	※銅剤との混用や銅剤散布後の使用を避ける。 ダニオーテ散布後に銅剤を使用する場合は10日以上の間隔をあける。
	28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	100～300L	前日まで	2回以内				●		●登録：オオタバコガ
	11A	ゼンターリ顆粒水和剤	1,000倍	100～300L	発生初期 (但し、収穫 前日まで)	—				●		●登録：アオムシ、オオタバコガ
	未分類	ビタイチ	500倍	100～300L	前日まで	—	●	●			●	●登録：うどんこ病 ※5～7日間隔での連続散布や他剤とのローテーション散布を行う。 ※展着剤は加用しない。
	未分類	ナメクリーン 3	3 kg／10a 株元散布		前日まで	2回以内						●登録：ナメクジ類

病害防除【殺菌剤】

作業	RAC コード	薬 剤 名	使 用 方 法				対 象 病 害 虫			注 意 事 項
			倍 率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	炭疽病	うどんこ病	灰色かび病	
1 育苗前	8 F	バスアミド微粒剤 <sup>㉔</sup>	30kg／10a		仮植又は定植 21日前まで	1 回	●			●登録：疫病、芽枯病、萎凋病、萎黄病、青枯病 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
	M 9	デランフロアブル <sup>㉔</sup>	1,000倍	100～300L	育苗期	2 回以内	●			
	M 3	アントラコール顆粒水和剤	500倍	150～300L	仮植栽培期	6 回以内	●			
育 苗 期 ～ 生 育 期	1	ベンレート水和剤	500倍	—	仮植前 10分～30分間 苗根部浸漬	1 回	●			●登録：萎黄病（1～3時間苗根部浸漬）
				50～100mL／株	育苗期 灌注	3 回以内	●			●登録：萎黄病
				100mL／株	本圃定植後 但し30日前 まで 灌注	1 回	●			
	M 3	トレノックスフロアブル	500倍	100～300L	育苗期	5 回以内	●			
					生育期・収穫開始 21日前まで	2 回以内	●			
	M 4	オーソサイド水和剤80	800倍	100～300L	収穫開始 14日前まで	5 回以内	●		●	●登録：芽枯病
	M 7	ベルクートフロアブル	1,000倍	100～300L	育苗期 (定植前)	5 回以内	●	●		●登録：輪斑病
			2,000倍	100～300L	前日まで (生育期)	5 回以内	●	●	●	●登録：黒斑病
	12	セイビアーフロアブル20	1,000倍	100～300L	前日まで	3 回以内	●		●	●登録：黒腐病
	11	アミスター20フロアブル	1,500倍	100～300L	親株育成期	3 回以内		●	●	●登録：炭疽病（2,000倍） ※アゾキシストロピンを含む（アミスター）総使用回数は8回以内 （苗床：4回以内、本圃土壌混和1回以内、本圃での散布3回以内） ※浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると葉害を生じる場合がある。 ※【ストロビルリン系】耐性菌出現防止のため総使用回数は2回以内とする。
			1,500倍	100～300L	前日まで	苗床：4回以内 本圃：3回以内		●	●	
	3	トリフミン水和剤	3,000倍	100～300L	前日まで	5 回以内		●		●登録：じゃのめ病、輪斑病
	U 6 3	パンチョ T F 顆粒水和剤	2,000倍	100～300L	前日まで	2 回以内		●		※トリフルミゾールを含む（トリフミン、パンチョ）総使用回数は5回以内 ※【E B I 剤】耐性菌出現防止のため総使用回数2回以内とする。
	7	アフエットフロアブル	2,000倍	100～300L	前日まで	3 回以内		●	●	●登録：輪斑病、黒色根腐病
	9	フルピカフロアブル	2,000倍	100～300L	前日まで	3 回以内		●	●	
	N C	ハーモメイト水溶剤	800倍	150～300L	前日まで	—		●	●	※野菜類での登録